



第108回
日本医史学会

総会および学術大会
プログラム

名誉会長 長門谷洋治
会長 田中 祐尾
顧問 寺畑 喜朔 中山 沃 中橋 彌光
実行委員長 奥沢 康正
IT 統括 猪飼 祥夫 園田 真也

後援：大阪府医師会 八尾市医師会 大阪市立大学医学部
大阪市立大学医学部同窓会 同腫瘍外科（第一外科）桜濤会

会期：平成19年4月7日（土）8：30より受付
4月8日（日）8：30より受付

会場：大阪市立大学医学部学舎4階（総会・講演会場）
大阪市阿倍野区旭町1-4-3

アベノメディクス6階（展示会場）
大阪市阿倍野区旭町1-2-7

他に共催展示4会場（別記）

懇親会：平成19年4月7日（土）18：30

医学部学舎3階ホール



会場一覧表

第一日 4月7日(土)

	第一会場(4階大講義室)	第二会場(4階中講義室)
8:50~8:55	会長挨拶 田中 祐尾	
9:00~10:00	一般口演 第1~5席 座長 奥沢 康正	11~15席 座長 真柳 誠
10:00~11:00	6~10 座長 W・ミヒエル	16~20 座長 小曾戸 洋
11:00~11:05	大阪府医師会長挨拶 酒井 國男	
11:05~11:45	会長講演 田中 祐尾 座長 寺畑 喜朔	
11:45~12:45	通常総会 記念撮影	
12:45~13:35	昼食・休憩(食堂3階)	
13:35~14:47	一般口演 21席~26 座長 飯塚 修三	32~37 座長 蔵方 宏晶
14:47~15:47	27~31 座長 町 泉寿郎	38~42 座長 寺畑 喜朔
16:00~18:00	シンポジウム 座長 蒲原 宏 小石 秀夫、古西 義磨、芝 哲夫、 浅井 允晶、W・ミヒエル	
18:15~20:00頃	会員懇親会	3階ホール

第二日 4月8日(日)

9:00~10:00	一般口演 43席~47 座長 松木 明知	53~57 座長 友部 和弘
10:00~11:00	48~52 座長 石原 力	58~62 座長 相川 忠臣
11:00~11:05	医学部長挨拶 西沢 良記	
11:05~11:55	特別講演 酒井 シヅ 座長 蒲原 宏	
11:55~13:00	昼食・休憩(食堂3階)	
13:00~14:00	招待講演 ジェフリィ・ヘインズ 通訳 加茂 利男 座長 田中 祐尾	
14:00~15:00	一般口演 63席~67 座長 正橋 剛二	14:00~15:12 68~73 座長 泉 彪之助
15:15頃	閉会の辞 酒井 シヅ	

会場2ヶ所をお間違いないきよう、お確かめ下さい。73席終了後全員第一会場にお集まり下さい。

第一会場 4階 大講義室(一般口演・会長講演・特別講演・招待講演)

第二会場 4階 中講義室(一般口演)

日程表

第一日 4月7日(土)

- 8:30 受付
- 8:50~8:55 **開会の挨拶** 総会会長 (第一会場)
- 9:00~11:00 一般口演 (第一会場 1~10席・第二会場 11~20席)
- 11:00~11:05 **大阪府医師会長挨拶** 酒井國男 (第一会場)
- 11:05~11:45 **会長講演** 田中祐尾 (第一会場)
- 11:45~12:45 通常総会 記念撮影 (第一会場)
- 12:45~13:35 昼食・休憩
- 13:35~15:47 一般口演 (第一会場 21~31席・第二会場 32~42席)
- 16:00~18:00 **シンポジウム** (第一会場)
大坂の蘭学史 - その背景と展開そして特徴
- 18:30~20:30 頃 会員懇親会 (3階ホール)

第二日 4月8日(日)

- 8:30 受付
- 9:00~11:00 一般口演 (第一会場 43~52席・第二会場 53~62席)
- 11:00~11:05 **医学部長挨拶** 西沢良記 (第一会場)
- 11:05~11:55 **特別講演** 酒井シヅ (第一会場)
- 11:55~13:00 昼食・休憩
- 13:00~14:00 **招待講演** ジェフリー・ヘインズ (第一会場)
- 14:00~15:12 一般口演 (第一会場 63~67席・第二会場 68~73席)
- 15:15頃 **閉会の辞** 日本医史学会理事長 (第一会場)

準備実行委員

八木 聖弥・北小路 博央・田村 哲二・五十嵐 麻子・大島 徹・広瀬 伸也

第一日（第一会場）

- 開会の挨拶** 田中 祐尾
- 9:00～10:00 一般口演 座長 奥沢 康正
- 第1席. 陸軍々医学舎長緒方惟準講述の「陸軍医務沿革史」
- 中山 沃
2. 奨進医会 - 『医談』から『刀圭新報』へ -
- 岡田 靖雄
3. 大阪病院の人体模型 高橋正純訳『紙塑人体解剖譜』
と大江伊兵衛の木製人体模型 月澤 美代子
4. 黎明期の京都市学校医会
- 八木 聖弥
5. 大阪宣教師会議から京都看病婦学校へ
- 「もう一つの近代医療・看護」の細い系譜をたどる 小野 尚香
- 10:00～11:00 一般口演 座長 W・ミヒエル
6. ポンペの病理学総論オランダ語講義ノートの研究
相川 忠臣 ハルム・ボイケルス
7. 適塾門下生「備中窪屋郡中畷 別府真敬悴別府琴松」について
木村 丹 松田 俊悟
8. 緒方章公裁譯稿「舍密便蒙」について
有田 浩和
9. 適塾の塾頭松下元芳の系図について
- 福沢諭吉の一代前の塾頭で親友の筑後久留米藩医 - 中山 茂春
10. 杉田玄白所蔵のターヘル、アナトミアの所在
寺畑 喜朔
- 11:00～11:05 大阪府医師会長挨拶 酒井 國男
- 11:05～11:45 会長講演 座長 寺畑喜朔
近世自家医学遺産の諸分析 田中 祐尾
- 11:45～12:45 総会 写真撮影

第一日（第二会場）

9:00～10:00 一般口演

座長 真柳 誠

11. 病院医療の歴史的始原 - わが国の療病院と古代インドの福德医薬舎
亥口 勝彦
12. けがれの思想の歴史的観察
杉田 暉道
13. 中国伝統医学と道教(第二十七回覺世真経)
吉元 昭治
14. 『医籍考』による『四庫全書提要』の考証
(誌上発表) 郭 秀梅
15. 田中彌性園の古医書

小曾戸 洋 天野 陽介 友部 和弘
町 泉寿郎 田中 祐尾

10:00～11:00 一般口演

座長 小曾戸 洋

16. 小腹と少腹の位置
木場 由衣登
17. 『埃穴法』『埃穴明弁』について
山崎 陽子 田中 利江子 橋本 典子
18. 『名家灸選』所収の紐状物を使用した取穴法
鶴田 泰平
19. 垣本鍼源の刺絡
友部 和弘 石野 尚吾
20. 謝觀(利桓)と『中国医学大辞典』
天野 陽介 小曾戸 洋 石野 尚吾 花輪 寿彦

第一日（第一会場）

12:45～13:35 昼食・休憩

13:35～14:47 一般口演

座長 飯塚 修三

21. 明治大正までに創設された東京の私立精神科病院

金川 英雄

22. 名古屋大学医学部の濫觴

高橋 昭

23. 高木兼寛の健康教育観に関する研究(第二報)

- 臨時教育会議での高等・大学教育改善に関する発言内容から
芳賀佐和子 平尾 真智子 蝦名 總子

24. 本邦においてヘボンが用いた教科書『衛生・生理学』書について

島田 和幸

25. 公衆浴場法における営業者の役割

川端 美季

26. 大正期学校衛生史の研究(四)石原喜久太郎

杉浦 守邦

14:47～15:47 一般口演

座長 町 泉寿郎

27. 江戸時代の電気療法 - 伊藤慎蔵譯本『改正磁石靈震氣療説』について

渡部 幹夫

28. 日本医薬・博物著述年表の編纂

真柳 誠

29. 大坂薬種中買仲間と唐薬の江戸流通

羽生 和子

30. 江戸・明治期の貿易・販売資料に見られる西洋式医科器械について

ミヒェル・ヴォルフガング

31. 高野六郎 - 衛生行政の専門性に関する考え方の形成をめぐって -

横田 陽子

第一日（第二会場）

12:45～13:35 昼食・休憩

13:35～14:47 一般口演

座長 蔵方 宏昌

32. ベルツ博士の精神とヘルテル(大阪医科大学)教授

山上 勝久

33. コロトコフ法による血圧測定の普及

藤倉 一郎

34. フロレンス・ナイチンゲールは我が国にどのように紹介されてきたか

上坂 良子 水田 真由美

35. ハンガリー医学史瞥見・ゼンメルワイス医学史博物館訪問記

佐藤 裕

36. 「オルトペディ」の造語者、ニコラ・アンドリ(1658 - 1742)(その二)

小林 晶

37. 中世の医学者アルナウ・ピラノバ

泉 彪之助

14:47～15:47 一般口演

座長 寺畑 喜朔

38. 占領期の医療・看護に関する出版物の検閲(三)

- 長野県における保健婦の活動

大石 杉乃 喜多 加奈子 平尾 真智子 芳賀 佐和子

39. 脊椎麻酔事故予防に対する医史学的対策とその効果

松木 明和

40. 占領期における急性感染症の発生推移(1945 - 1951)

田中 誠二 杉田 聡 森山 敬子 丸井 英二

41. 戦後沖縄の保健・医療行政その1 - アメリカ統治下の保健・医療システム -

杉山 章子

42. 大正・昭和初期における鍼灸医師法制定請願運動

奥津 貴子

第一日（第一会場）

16:00～18:00 シンポジウム

大坂の蘭学史 - その背景と展開そして特徴

司会 蒲原 宏 パネラー小石 秀夫・古西 義麿・芝 哲夫・浅井 允晶・W・ミヒエル
(各パネラーの発言テーマは裏表紙にあります)

第二日（第一会場）

9:00～10:00 一般口演

座長 松木 明知

第43席・野口英世訳カールデン著『病理学的細菌学的検究術式綱要』

の原書について

殿崎 正明 唐澤 信安 岩崎 一

44. 野口英世の左手「わが国初の有茎皮弁移植術」

志村 俊郎 唐澤 信安 殿崎 正明 岩崎 一 寺本 明

45. 済生学舎の山田良叔講師と山田訳「蘭氏生理学」について

岩崎 一 殿崎 正明 唐澤 信安

46. 日本の口中科免許第一号 佐治識(さじ・つかさ)

樋口 輝雄

47. 口内炎の病因に関する変遷

西巻 明彦

10:00～11:00 一般口演

座長 石原 力

48. グラム医師の研究の経過について

会田 恵

49. ヴォランティア・ホスピタルが拓く地平(1) - セントジョージ病院の設立と発展 -

柳澤 波香

50. 京都岩倉における精神病者家族的看護の衰退理由

- ベルギーのヘールとの比較において

中村 治

51. ガレノスとヴェサリウスの解剖学の比較研究(五) - 骨を例にとりて

坂井 健雄

52. シルヴィウス解剖学書の情報源・ガレノスとの比較から

澤井 直

第二日（第二会場）

9:00～10:00 一般口演

座長 友部 和弘

53. 『四海同春』について

宮川 隆弘

54. 宋代の脈状分類 - 七表八裏九道の変遷

中川 俊之

55. 神灯照法について

上田 善信

56. 『明月記』の鍼灸

寺川 華奈

57. 『南冥問答』にみる「嘔」について

小曾戸 明子

10:00～11:00 一般口演

座長 相川 忠臣

58. 『古今方彙』各種版本の検討

鈴木 達彦 遠藤 次郎 中村 輝子

59. 『馬琴日記』にみる病と宗教

井川 道子

60. 大江雲澤と合水堂

川嶌 真人

61. 『今昔物語集』の中の身体に関わる表現(二)

計良 吉則

62. 平野重誠の『玉の卵槌』(1837)にみる凶年後の心得と看護

中村 節子

第二日（第一会場）

- 11:00～11:05 医学部長挨拶 西沢 良記
- 11:05～11:55 特別講演 座長 神原 宏
大坂の蘭学 - 特に人体解剖について -
酒井シツ
- 11:55～13:00 昼食・休憩
- 13:00～14:00 招待講演 座長 田中 祐尾
煙の町から住み心地よき街へ - 関一(せきはじめ)と近代大阪 -
ジェフリー・ヘインズ
通訳 加茂 利男
- 14:00～15:00 一般口演 座長 正橋 剛二
63. 曲直瀬道三『薬性能毒』の研究
野口 大輔 遠藤 次郎 中村 輝子 真柳 誠
64. 道三の「曲直瀬」と玄朔の号「東井」に関する考察
遠藤 次郎 中村 輝子 真柳 誠
65. 田中彌性園の古文書・書画
町 泉壽郎 小曾戸 洋 田中 祐尾
66. 『病論俗解集』について
永嶋 泰玄 岩田 源太郎 大井 康敬
67. 谷川士清とその処方集に見られる水銀製剤
西井 易穂
- 閉会の辞 酒井 シツ

第二日（第二会場）

11:55～13:00 昼食・休憩

14:00～15:12 一般口演

座長 泉 彪之助

68. 私宅監置擁護論の思想的背景 - 精神医学者ワイガントの日本観を通して -
橋本 明
69. 南小柿寧一とその家系(二) - 南小柿宗宅
石原 力
70. 「癘」についての一考察
吉岡 広記
71. 佐藤方定と『大同類聚方』
後藤 志朗 根本 幸夫
72. 近世大坂の産科学と墮胎術
内野 花
73. 愛日文庫蔵「魯西亜漂流之記」は山片蟠桃の著作か
飯塚 修三

誌上発表

74. 塩見脩也と蘭方膏薬
中西 淳朗
75. 英国医史、中世の例
栗本 宗治
76. 出土した中国古代医学文物(同題の展示内容の解説を兼ねる)
猪飼 祥夫
77. 冬虫夏草(広義)の伝来と薬物への受容
奥沢 康正

展示

- 「近世から明治への大坂の医学」 八尾市田中家彌性園遺産より
- 「出土した中国古代医学文物」 北里研究所東洋医学総研 猪飼祥夫編纂
- 「伝統と革新 - 明治期の大坂における医科器機業 -」 九州大学 W・ミヒエル編
- 「眼科の歴史」 明星会園田病院 副院長 園田真也編纂
医学部医学情報センター資料館
大阪市阿倍野区旭町1-2-7 アベノメディクス6階(医学部学舎北隣)

共催展示

- 「緒方洪庵と適塾」 適塾
大阪市中央区北浜3-3-8 (3月29日~4月15日)
- 「緒方洪庵と天然痘」 除痘館記念資料室
大阪市東区今橋3-18 (3月29日柿落とし~4月15日)
- 「江戸時代の医家 - 肖像と著書 -」 杏雨書屋
大阪市淀川区十三本町2-17-85 (3月29日~4月15日)
- 「経絡図・銅人形を中心に」 森ノ宮医療大学はりきゅうミュージアム
大阪市東成区中本4-1-8 (会期中)
- 「小児鍼の歴史」 記念講演 横山浩之 4月8日 午後3時

注意要項

今回久方ぶりで大阪市の真ん中、公的施設での総会及び学術大会ということで色々注意して頂きたいことがあります。

聴衆へ

1. 一般口演は第一会場が医学部 4 階大講義室、第二会場が同階中講義室です。何れも緩やかな段差の有る階段教室ですので、特に消灯時、呉々も足元にご注意ください。
2. 定員は大講義室は 250、中講義室が 120 名です。満員の場合簡易椅子を用意しますが、休憩にはロビー又はあと二つ小講義室がありますのでご使用下さい。また1階ロビーにも十分な空間が有ります。

演者へ

1. 今回一般口演時間は 10 分、質問 2 分です。
2. 発表後 8、9 分にそれぞれベルでお知らせします。
3. 演者は座長の支持に従い時間を厳守して下さい。
4. 次演者は指定の席で待機して下さい。
5. 配布資料は 120 部程度ご用意下さい。配布後の余りを口演番号順にロビーの机に配置します。若い番号順に無くなります。
6. 4 名の紙上発表者の配布資料分も同様とします。

質問

1. 簡潔な応答のみしか出来ませんので、引き続き演者とロビーでお話し下さい。
2. それでも機会を逃された場合は後日演者と交信願います。事務局宛必要事項を指定して下さい。お取り次ぎ致します。
3. 今回は全口演をビデオ撮り致しますので、編集を意識されて、より簡潔、明確にやり取りをお願いします。

座長へ

1. 今回二会場で一般口演 73 題をこなすには、時間的な余裕が殆どありません。時間延長は禁忌です。後は全て一任致します。
2. 次席座長は指定の席で待機して下さい。

映像について

1. 今回パソコンによるパワーポイント・プロジェクターに事前統一します。OHPも使いになれません。4名のスライド発表者は事務局へスライドもしくはその原版写真を一日も早くお送り下さい。
2. 当日出演順の全映像資料を予め設定致しますので、プロジェクターでの発表者はCD ROMを3月23日までに必着で郵送下さい。一人だけ遅れるというのは大変困ります。

展示について

1. 展示場アベノメディクスビルは医学部ビルの北隣ですが(土)(日)当日、昼休みと午後の数回、集団で誘導致します。入り口は1ヶ所で係員がロビーで声をかけます。帰りも同様です。隣のビルですが、はぐれないようにご注意ください。
2. 適塾と除痘館及び、杏雨書屋の展示は全日開館して頂いております。付属病院前からタクシーでお願いします。1,500から2,000円前後の距離です。
3. はりきゅうミュージアムへは奥津 貴子氏が誘導致します。何れもタクシーの相乗りをお勧めします。2日目14時頃集合です。

参加費用

1. 学会参加費 8,000円、懇親会費 6,000円、昼弁当代各日 1,100円、記念写真代 1,000円、同封の振込用紙の各項目に を入れて合計をお振込み下さい。当日受付でのお支払いも勿論結構ですが準備の都合上事前振込みが有り難いです。
2. 受付にてプログラム、関西支部機関紙『醫譚』大会記念号、大阪医史跡マップ、同絵葉書、展示解説など入ったバッグをお受取り下さい。
3. 昼食は近所に無数の店がありますが交通が錯綜して事故が多く高齢の先生方には3階ホール(1階下)での弁当と湯茶の接待をお勧めします。(土)(日)のため弁当の数を予め掌握したく、弁当希望者は振込み用紙の弁当の番号に必ずをお願いします。

一般参加者へ

1. 大阪府医師会員、医学部関係者ほか一般参加の方は、一般受付にて3,000円をお支払下さい。懇親会へも参加可能で弁当も受け付けますが、当日分売切れの場合ご容赦下さい。
2. 一般受付にて日本医史学会雑誌抄録号及び前記と同じバッグをお渡します。会場内では案内係を頼って下さい。

交通

裏表紙の地図参照

電車 JR環状線、関西線、阪和線、地下鉄天王寺駅、近鉄南大阪線あべの橋駅よりそれぞれ 徒歩 15分

大阪市バス 市大病院前

タクシー 大阪市大医学部ビル

駐車場は必ず市大付属病院地下駐車場へ(目印あり)1時間300円 午後7時に閉館のため万が一泊となった場合は田中(会長)まで一報下さい。

禁止事項

場内全面禁煙です。厳守願います。

何れも、教室でありますので宜しく対応をお願いいたします。

宿泊ご予約窓口

医学会総会事務局 電話 06 - 6875 - 8391 HP <http://www.isoukai.jp>

旅行代理店 JTB 医学会総会係 電話 06 - 6260 - 5076

総会及び学術大会に関するお問い合わせ先

第108回日本医史学会総会事務局

〒581 - 0003 八尾市本町 5 - 1 - 7 田中院内

電話 072 - 922 - 2028 Fax 072 - 993 - 1237

E-mail: sachio-tanaka@umin.ac.jp

緊急時連絡先 090 - 5669 - 8213 (タナカ サチオ)

8 ページシンポジウム(第一日目)の記事の続き

各パネラーの発言テーマ(順不同)

小石 秀夫「大坂蘭学発祥の背景」

古西 義麿「大坂の蘭学における大坂の除痘館の役割」

芝 哲夫「大坂の蘭学と適塾」

浅井 允晶「大坂蘭学の実験的・実証的性格」

W・ミヒェル「人・モノ・情報 - 医学と医療の近代化から見た大阪について」

会場付近略図

